

# 2022年度 事業計画概要

学校法人 横浜雙葉学園

「横浜雙葉学園の校訓」

徳においては純真に 義務においては堅実に

Simple Dans Ma Vertu Forte Dans Mon Devoir

## I 教育理念と教育目標

本学園は、カトリック精神を土台とし、神から託された子どもたちの健全な発展をその理念とし、人間形成において次のような事柄を大切にしている。

- 神に生かされている人間の神秘に気づいていくこと。
- イエス・キリストの似姿として成長していくこと。
- 地球社会の一員として、共生と連帯を生きていくこと。

そして、子どもたちの教育を担うため、次のことを目標としている。

- ①神に生かされているかけがえのない自分の存在に感謝する心の育成。
- ②地球社会の一員として人々と環境を愛し貢献できる人間の育成。
- ③自分で考え、判断し、その責任をとることのできる人間の育成。
- ④児童・生徒の個性に応じた学習指導の充実。
- ⑤児童・生徒の生命を守る安全指導の充実。
- ⑥児童・生徒の教育環境の整備と充実。
- ⑦卒業生・保護者を含めた学園全体の教育力の育成。

## II. 課題と主要な施策

### 1 本学園の課題

日本のカトリック学校として最も古い伝統を持つ本学園は、それゆえに最も新しい課題をいつも担い、さまざまな人々の支援によってそれを乗り越えてきた。現代社会の中で、本学園はまた古くて新しい課題に直面している。

- カトリック学校としての創立の精神をいかに継続していくか。
- 学園の継続のための経営的な基盤をどのように図っていくか。
- 社会環境の変化に応じた教育内容をどのように充実させるか。

### 2 主要な施策

- ① 建学の精神を明確に伝えるために、教職員による研修を通して福音的共同体としての学園の理念を分かち合う機会を持つこと。
- ② 中長期的な視野のもとに、適切な経営指標を策定すると共に、施設設備の充実のため

に経費の削減と寄付の増加を踏まえて、経営健全化の施策を検討すること。

- ③ 急激な教育改革に対応した教育内容の充実を図り、優れた教職員の育成を図ると同時に生徒の可能性をより開花させ、本校の教育内容を具体的に外部に伝える広報活動を充実させること。
- ④ 保護者との連携、および後援会・同窓会などの学校関連組織との連携を通して、学園の教育力を更に豊かにするための機会を持つこと。

### Ⅲ. 2022年度活動方針

#### <学園全体>

- 小中高の教育活動をトータルに考え、一貫教育の長所を生かした活動を考慮する。
- 幼きイエス会の教育の実践・教職員の研修と人材の育成・教育設備機器を整備する。
- 学園の歴史及び教育内容についての学園内外への広報活動の充実を図る。特に2022年度は学園の創立者であるマザー・マチルドと修道女たちの来日150周年にあたり、改めて幼きイエス会の日本宣教の意義を見つめ直し広く学園内外に伝える。
- 新教育課程の実施と合わせ、新型コロナウイルス感染拡大防止策を踏まえた学園の授業・行事等のあり方について検討する。

#### 1 教育活動

- 社会に開かれた教育の具体化を目指す。
- 技術革新が進む社会に対応する教育環境の充実、ICT教育の充実を図る。
- 新学習指導要領に対応した学習指導の充実を推進する。
- 様々なパーソナリティを持つ児童・生徒や、精神的ケアの必要な児童・生徒に対応し、教育相談体制の充実・連携を図る。
- コロナ禍における学習活動・学校行事の工夫に努める。

#### 2 経営・財務

- 講堂・中高体育館・小学校校舎の改修・改築工事に向けて、少しでも財政的な余力を積んでいくために、さらなる財政健全化を進める。
- 幼きイエス会の来日150周年を迎え、修道会や他の姉妹校と連携を取りながら、また新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら、周年事業を行う。
- 一方で教育の質を向上させるために、儉約とともに必要な部署に必要な投資を行う。

#### 3 施設・建物

- 学内の建築委員会の発足と会合、具体的な検討などを速やかに行い、できるだけ早い時期に計画案をまとめる。
- 他の修繕工事との優先順位を検討し、施設関連の投資計画を踏まえながら計画、実施する。

#### 4 学園の広報活動及び・生徒・児童募集に関する施策

- 小・中高それぞれの部署からの学園内外への広報活動の展開を行う。
- ホームページの効果的な活用と見直し、刷新を行う。
- 学園報・学校新聞・英字新聞などを活用する。

○2022年がマザー・マチルド来日150周年であることを学園内外にも伝え、特にマチルドら5人の修道女が初の来日修道女であることを合わせて知らせる。学園内の適切な場所に150周年を伝える写真などを展示する。

#### IV. 2022年度安全対策

- 小中高をトータルにとらえた継続的な安全対策の策定を立案する。
- 児童生徒の、学内外における安全対策のために、ソフトとハードの両面から危機管理の対応を整備する。
- 防災・被災対応についての各種訓練を小中高の連携を図りながら実施する。
- 保護者に対する情報リテラシーの涵養を図る。

#### V その他

- 創立125周年に向けての中長期計画の立案を図る。
- 幼きイエス会の来日150周年にあたって小中高で、また修道会、横浜教区の協力を得ながら児童・生徒たちとともに記念行事を実施する。
- 国内外の姉妹校・カトリック学校間の連携を強化する。
- 学校評価・授業評価・自己評価の実施と一層の充実を図る。
- 政府が進める働き方改革への対応を検討する。
- パワハラ・セクハラを含むさまざまなハラスメントについて学園としての認識を深める。
- 理事会・評議委員会・経営会議の連携と小中高の管理職との情報の共有を緊密にする。

以 上